

平成 27 年（2015 年）4 月 7 日

平成 27 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰
NII 准教授の坊農真弓が若手科学者賞を受賞

文部科学省が本日発表した「平成 27 年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰」で、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（以下 NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）のコンテンツ科学研究系 特任准教授 坊農真弓が「若手科学者賞」を受賞しました。坊農 准教授の受賞に関する情報やプロフィールなどは以下の通りです。

氏 名： 坊農 真弓（ぼうのう・まゆみ）
年 齢： 37
職 名： 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 特任准教授
業 績 名： 日本語と日本手話を対象とした多人数インタラクションの研究

生年月日： 昭和 52 年（1977 年）9 月 12 日
出身地： 奈良県
主な学歴： 奈良県立平城高校、同志社女子大学、神戸大学大学院

経 歴： 平成 26 年 4 月～現在 国立情報学研究所 准教授
総合研究大学院大学 複合科学研究科 准教授
平成 21 年 4 月～26 年 3 月 国立情報学研究所 助教
総合研究大学院大学 複合科学研究科 助教
平成 21 年 10 月～25 年 3 月 JST さきがけ 情報環境と人 研究者(1 期生)
平成 20 年 8 月～21 年 3 月 テキサス大学オースティン校 客員研究員
平成 19 年 10 月～20 年 3 月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 客員ポスドク研究員
平成 19 年 4 月～21 年 3 月 日本学術振興会/京都大学 特別研究員(PD)
平成 18 年 4 月～19 年 3 月 京都大学 情報学研究科 研究員
平成 14 年 9 月～18 年 3 月 ATR メディア情報科学研究所 研究員等



業績概要： 手話は音声言語とは独立した個別の言語であると指摘されながら、言語コミュニケーションの研究領域では十分に扱われてこなかった。手話には独自の書き言葉がないため、研究材料として記述し、科学的に検証する手法が十分ではなかったことが要因に挙げられる。今回の受賞は、日本語と日本手話を等価な言語と位置づけ、日常の場面におけるマルチモダリティと多人数性に着目したインタラクション研究が対象となった。本研究の成果は、日本社会における日本語と日本手話の共存のあり方を指し示し、言語学のみならずコミュニケーションにおける身体性を扱う認知科学、文化人類学、社会学、情報学など関連する研究領域に影響を与えると期待されている。

コメント： 「このような栄誉ある賞をいただけることを、驚きつつも大変喜んでいますが。これまでの自分の業績をまとめる機会があり、『なんてまとめにくい研究をしているのだろう』と思うと同時に、研究上の紆余曲折がいつの間にか一本の道になっていることに気がつきました。今回の受賞は、研究に対する私のこうした信念を理解していただけただけからではないかと思います。指導してくださった先生方、日々叱咤激励して下さる研究仲間、そして、いつも変わらず温かく支えてくれている家族に感謝します。一般的に『若手』とつく賞は、若手の間に進めた仕事に対して送られるものと思います。私は若手に留まっているべきではなく、これからは後進の方々に私の経験を伝えていくことが大切だと思っています。今後は、自分の研究のみならず、研究分野全体の更なる活性化を目指して邁進してまいります」

以上